

【茨城県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2022年度2次隊 茨城県各自治体への表敬訪問

国際協力機構(JICA)は、10月～11月に茨城県から3名のJICA海外協力隊員を2022年度2次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり茨城県副知事及び市長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、茨城県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸いです。

1. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
茨城県 副知事 横山 征成	2022年9月29日(木) 11:30～12:00 知事室	同県出身 JICA 海外協力隊員 壹岐 満明 大塚 衛 ※渡辺氏は出席かなわず
守谷市 市長 松丸 修久	2022年9月16日(金) 10:30～11:00 市長室	壹岐 満明
筑西市 市長 須藤 茂	2022年9月21日(水) 11:00～11:30 市長室	渡辺 南
桜川市 市長 大塚 秀喜	2022年9月21日(水) 14:30～15:00 市長室	大塚 衛

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
海外協力隊	壹岐 満明	コミュニティ開発	パラグアイ	農業金融公庫中部支部コロネル・オビエド顧客センター
【活動内容と抱負】 2013年から2年間ネパールにてシニア海外ボランティアとして活動しました。70才を目前に、自身の恩返しの意味も込めて再度国際貢献に寄与させていただきたいと思い応募しました。当該国での活動としては、配属先の融資先に当たる小規模農家が生産した農作物の販売促進、バリューチェーンの強化・促進支援が主なものとなります。約40年間のサラリーマン生活で培った「マーケティング」という技術・思考を当該配属先の職員の皆様と共有し、一つでも問題解決の糸口としてお役に立つことができればと思っています。				
青年海外協力隊	渡辺 南	畜産・乳製品加工	ザンビア	カシシ農業研修センター
【活動内容と抱負】 診療業務・繁殖管理・飼養管理など、これまでの私の経験を活かして、ザンビアの畜産業の発展に貢献したいと思い応募しました。活動内容は、乳製品の生産性の向上と品質改善に向けた計画を立てることで、記録と分析を行い、問題点やニーズを明確にして、現地の方と協力して課題解決に取り組みたいと考えています。				

青年海外協力隊	大塚 衛	作業療法士	マダガスカル	アンザナマシナ精神 保健大学病院
<p>【活動内容と抱負】 学生時代、先進国では治療可能な病で亡くなる子供が途上国には多い事、その現状を変えるための国際協力を知り、自分もその道を歩みたいと思いました。その後 JICA 海外協力隊を知り、長期滞在の中で現地の文化に深く触れ、現地の人々と共同で課題に向き合う点に魅力を感じ参加を決めました。 私の活動内容はマダガスカルの首都近郊にあります精神科の大学病院で作業療法士として勤務し、現地の患者様に作業療法を提供することやスタッフに日本の技術を共有することです。日本で経験したことがそのまま使える物は少ないようにも思いますので、まずは現地の現状を理解することやスタッフと信頼関係を構築することを念頭に置いて活動していきたいと考えております。</p>				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 国内協力員 河津 邦宣 TEL : 029-838-1117 E-mail : Kawazu-Kuninobu3@jica.go.jp
